令和３年度
学校だより
ＮＯ．６
Ｒ３．７．２０

南小っ子

かしこく　なかよく　げんきよく

甲府市立中道南小学校
（児童数７４名）
編集 校長 小林 和仁

学校生活紹介の第2弾は学校行事です。１学期後半の行事を振り返ります

自然の中で学んだこと

５年生が最大行事である林間学校（６月８日～９日）に行ってきました。天気にも恵まれ、２日間とも予定通りの活動を行うことができました。林間学校は、広い自然の中で、家族とではなく、学校の仲間と野外活動をしたり、寝食を共にしたりして活動することにより、学校の教科学習では学べない社会性を学ぶ場だと考えています。１日目は、飯盛山登山、乗馬体験、野外炊事、ナイト追跡、２日目は、美し森絵図ハイクの活動をしました。容易ではない飯盛山登山からのスタートでしたが、疲れを見せずに元気に２日間を過ごしました。楽しい思い出とともに、２日間で学んだことを、いろいろな場面で生かしてくれることと思います。

七夕集会　～平和を願って～

７月７日、七夕集会が行われました。目的を「平和を考える会」として、児童会執行部と６年生が中心となり、「もう一つの七夕」の紙芝居や七夕クイズをしました。紙芝居での、登場人物の心情をとらえた読み手のナレーションは、全校児童が話に入り込んでしまうほど上手でした。感染症対策をとりながらのクイズも、ユーモアも交えた楽しいものでした。児童会長の田中愛さんからは、誓いの言葉として、「心が穏やかで、学校が来るのが楽しいという気持ちを誰もが持てることが『平和』です。私達は相手のことを考えたり、思いやったりする心を持たなければなりません。合い言葉は『優しい心』です。７４名がみんなで力を合わせて友だちを大切にする心を育てていきましょう」と伝えてくれました。会場の体育館に飾られた七夕飾りは、技能員の渡邊さんが用意して下さった笹に、６年生が折り紙で作ってくれた飾りと一緒に全校児童と先生方の願いを書いた短冊を飾りました。一人一人の願いが叶うといいですね。当日は七夕給食で、星形ハンバーグと星飾りのゼリー、星形の人参がはいったスープなど特別メニューでした。

七夕の前日６日は甲府空襲があった日です。毎年この時期になると、善藤にお住まいの千野健様から、平和教育の一環として役立ててほしいと、先祖が残した戦時中の品々を貸していただいています。終戦から７６年、当時の貴重な資料をもとに、平和について考える大切な機会になっています。ありがとうございます。

コメリから花を寄贈していただきました

本校では、ホームセンター「コメリ」が組織する「コメリ緑育成財団」から、事業の１つとして毎年春に花を寄贈していただいています。今年度も、６月１６日に、マリーゴールド、サルビア、ブルーサルビアの花をいただきました。本来なら、全校の代表として児童会執行部が受け取りをしますが、今年度は感染症対策のため、校長が代理で受け取って児童会に渡し、花植えも全校一斉ではなく、各学年ごとに行いました。栽培・飼育委員会の毎日の世話のおかげもあり、現在、校舎前の花壇で色鮮やかに育っています。緑を大切にする気持ちを忘れずに、大切に育てていきたいと思います。

防災教室「命を守る」

６月３０日に、甲府市地域防災課の職員を講師にお迎えし、５・６年生対象に「防災教室」を行いました。今年は東日本大震災からちょうど１０年目を迎えます。自然災害は時に人々の命を奪ってしまう恐ろしいものであることをはじめに、自分の地域で起こりうる自然災害は何かを知り、早めに避難をすること、みんなで協力して助け合うことが必要であることなど、ＶＴＲ視聴を交えながら丁寧に教えていただきました。また、負傷者を運ぶための担架の体験や、移動式簡易トイレなど、非常時の設備の説明や疑似体験もさせていただきました。命を守ることの大切さを学ぶ貴重な時間となりました。

裏面に続きます

農業体験：じゃがいもほり

「南小っ子」第２号で紹介しましたが、例年、善藤にお住まいの千野健様のご好意で、農業体験として畑でじゃがいもを作らせていただいています。６月３日に、３年生以上の子どもたちが、二学年ずつ畑に行き、じゃがいも堀りをしました。たくさん収穫できたじゃがいもは学校に持ち帰り、高学年が小分けをしてくれたものを全校の児童に配りました。自分たちの手で収穫したじゃがいもの味はおいしかったことでしょう。この体験を通して、野菜を育てることの大変さを知るとともに、収穫して食べることの楽しさも味わうことができました。本当にありがとうございました。

感染症対策に必要な備品が入りました

学校から発信させていただいた新型コロナウイルスの感染予防対策につきましては、これまでご家族や地域の皆様にご協力をいただき、感謝申し上げます。若年層にもワクチン接種が進められようとしていますが、接種した方は発症しなくても、接種していない人にウイルスを感染させてしまうことがあることを考えると、マスクの着用、手指の消毒、密の回避等の予防対策はまだまだしていかなければなりません。明日から夏休みに入りますが、お子さんを感染症から守るため、引き続きのご理解とご協力をお願いいたします。

さて、学校では、国からの新型コロナウイルス感染予防対策の特別補助金の配当から、昨年度は大型の空気清浄機を、今年度は抗菌に適したベッド、布団乾燥機、掃除機を購入し、保健室に備えました。また、甲府市ＰＴＡ連合会からは、消毒液の自動噴霧器をいただきました。ハード面での対策も有効に生かしていきたいと思います。

校内の様々な支援

昨年度の臨時休校明けから、甲府市教育委員会の任用職員として、学習指導員と、スクール・サポート・スタッフの２名が各学校に配置されました。学習指導員は、個別指導や全体指導の補助や支援を業務として、本校では中林文子先生が複数の学年の指導をしてくれています。また、スクール・サポート・スタッフは、消毒作業や印刷、授業準備の補助等を業務として、宮川志保先生が校務をサポートしてくれています。宮川先生は、感染症予防対策として、毎日、児童が触れるドアノブを中心に消毒をしてくれています。担任による子どもたちへの毎日の声かけ、このようなスタッフや他の職員の、目に見えないところでの予防対策。一刻も早い終息を願っています。

熱中症予防対策

７月９日に関東甲信地方で梅雨明け宣言が出されました。それからというもの、連日３５度近い気温となり、登下校や外遊びなど、子どもたちにとっては厳しい状況になってきました。まだ暑さに慣れていないこの時期が、熱中症を起こしやすいと言われています。明日からの夏休み、外出時はもちろんですが、屋内でも気をつける必要があります。

さて、本校では、６月初旬から、児童玄関にミストシャワーが設置されました。これは、技能員の渡邊さんの手作りのシステムで、細かいミストが玄関前全体を包む大変優れたものです。子ども達も、休み時間から帰ってくると、「涼しい～」「超気持ちいい～」といって暑さから解放されていました。２学期も活躍してくれそうです。

学校だよりは、南小ＨＰにアップしております。ぜひご覧ください。 中道南小 検索　　もしくは 裏面のQRコードで